

# 令和5年7月24日～7月30日までの全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況 及び熱中症による救急搬送人員数と暑さ指数(WBGT)の関係について (令和5年度第13報)

## 1. 全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況について

7月24日～7月30日の6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、7月24、25日に「**厳重警戒**」を示す28以上31未満となり、7月26日以降は「**危険**」を示す31以上となりました。

6都市の10年間平均値と比較すると、暑さ指数(WBGT)は常に高くなり、7月26、27、28日は2以上高くなりました(図1、表1参照)。

11都市(注2)では、全都市で「**厳重警戒**」を示す28以上になる日があり、仙台、新潟、東京、名古屋、大阪、高知、福岡、鹿児島、那覇では「**危険**」を示す31以上になる日がありました(表1、表2参照)。

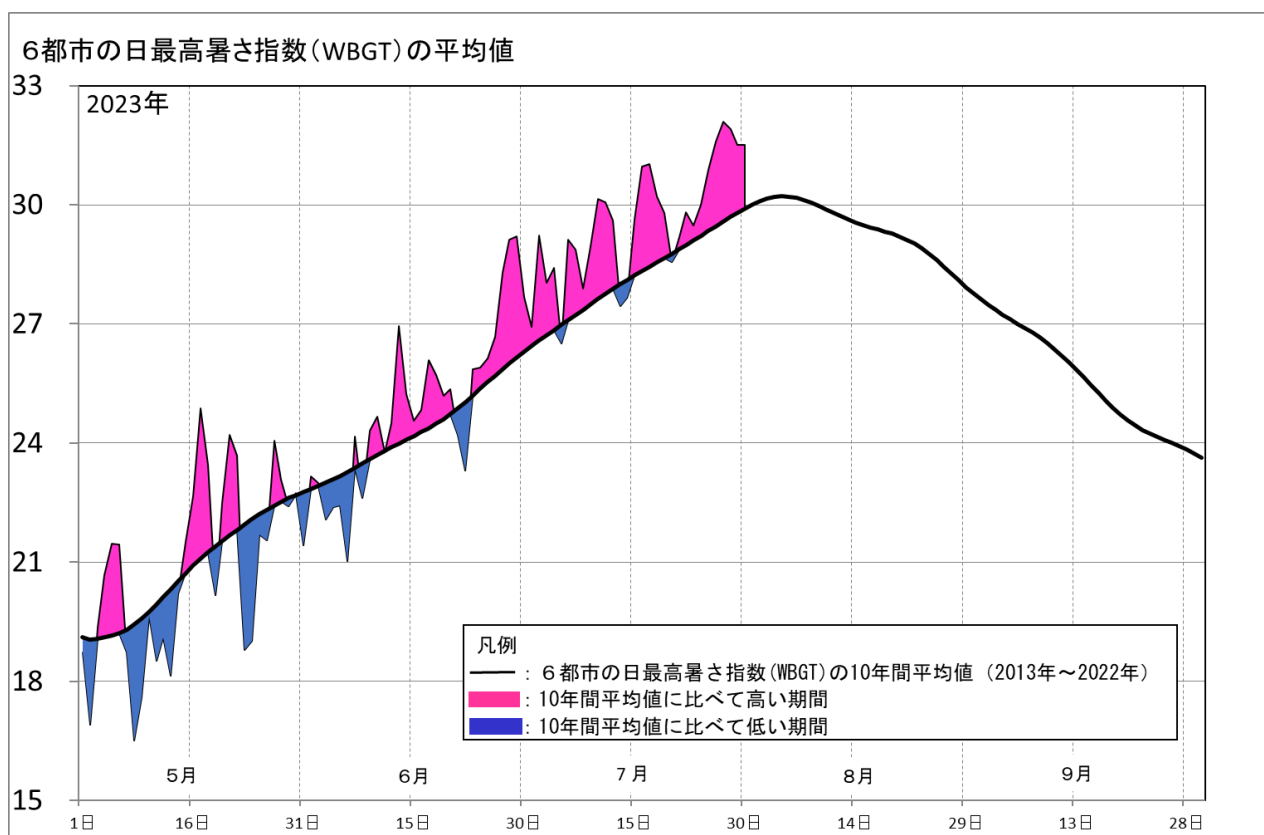


図1 全国の暑さ指数(WBGT)の動向と過去10年間平均値との比較

表1 全国11都市(注2)の日最高暑さ指数(WBGT)(7月24日～7月30日)(注3)

日	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇	6都市平均
24	26.1	29.6	29.8	30.7	30.7	29.3	28.7	30.0	30.8	31.5	32.1	30.0
25	28.9	31.6	30.3	31.9	31.7	30.3	29.6	31.8	31.5	32.8	31.8	30.9
26	29.1	31.3	31.8	31.7	32.4	31.4	29.6	31.4	32.7	31.8	30.5	31.6
27	30.8	31.2	29.7	33.3	32.8	32.6	30.9	31.5	33.3	32.9	28.9	32.1
28	30.7	31.0	30.4	33.4	32.4	32.4	30.4	30.8	32.4	32.1	31.2	31.9
29	30.5	31.0	31.1	32.2	31.9	31.0	30.3	30.9	32.5	30.7	31.1	31.5
30	26.7	32.2	31.0	33.5	32.0	30.8	29.5	31.3	32.2	30.9	32.0	31.5

注1 6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市

注2 11都市：札幌市、仙台市、新潟市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高知市、福岡市、鹿児島市、那覇市

注3 表1、表2の値は速報値であり、年度末に発表される確定値とは異なる場合があります。

表2 全国11都市の7月24日～7月30日の暑さ指数(WBGT)超過時間数(注3)

超過時間数	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇
31以上	0	13	3	30	20	16	0	10	21	17	16
28以上	31	62	77	69	75	50	53	61	66	73	62
25以上	85	123	138	114	135	155	111	131	149	167	167

ほぼ安全	注意	警戒	厳重警戒	危険
21未満	21以上25未満	25以上28未満	28以上31未満	31以上

2. 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)と熱中症による救急搬送人員数(全国)との関係

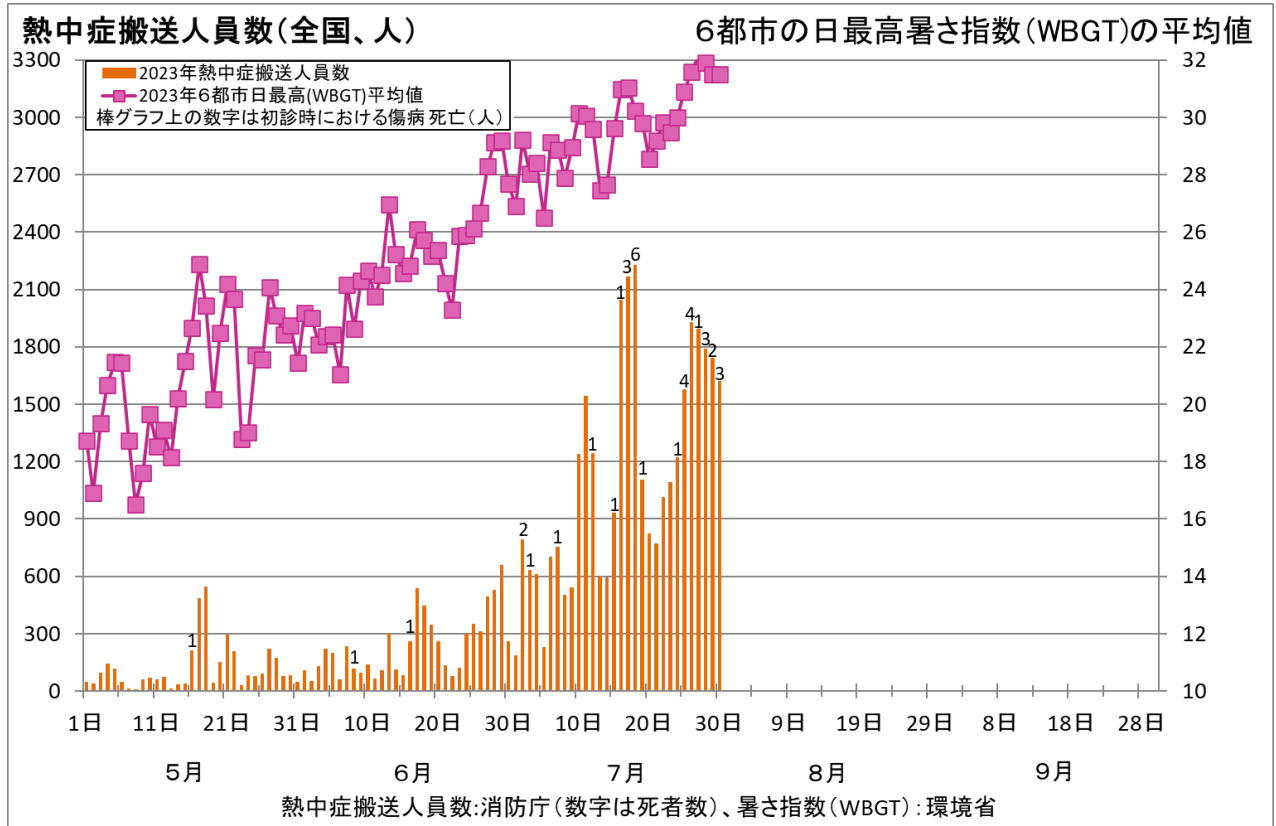


図2 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値と全国の熱中症搬送人員数の推移

消防庁発表の速報によると、熱中症による全国の救急搬送人員数は、連日1,000人以上となり、多い日が7月26日の1,929人、27日の1,893人で、7月24日～7月30日の総数は11,765人(死者18名含む)となりました(図2)。

### 3. 全国の熱中症警戒アラートの発表状況

7月24日～7月30日の間、熱中症警戒アラートの発表状況は以下のようになっております。（表3）。

表3 全国の熱中症警戒アラート発表状況（7月24日～7月30日）

地方※ <sup>1</sup>	北海道	東北	関東甲信	東海	北陸	近畿
域内平均※ <sup>2</sup>	0.4	1.7	3.2	4.3	5.5	4.3
のべ回数	3	10	29	17	22	26
地方※ <sup>1</sup>	中国	四国	九州北部※ <sup>3</sup>	九州南部・奄美		沖縄
域内平均※ <sup>2</sup>	5.3	4.5	5.7	4		1.8
のべ回数	21	18	34	12		7

※1：気象庁の地方予報区単位（別図参照）

※2：「地方内府県予報区の1週間ののべ発表回数」÷「地方内府県予報区数」

回数は前日17時、当日5時どちらかの発表で1回とカウント

※3：九州北部には山口県も含まれる

### 4. 今後の見通し（8/2 14:30時点）

8月4日までの予測期間において、全国で「危険」を示す暑さ指数31以上になる地点がある見込みです。

気象庁の2週間気温予報（8月2日発表、8月3日～8月14日）によると、「北日本、北陸地方、関東甲信地方の向こう2週間の気温は、暖かい空気が流れ込みやすいため高い日が多く、かなり高い日が続く所も多いでしょう。農作物の管理等に注意してください。また、熱中症の危険性が高くなりますので、健康管理に注意してください。

東海地方、近畿地方、中国地方、四国地方、九州北部地方の気温は、暖かい空気が流れ込みやすいため、向こう1週間程度は高い日が多く、かなり高い所もあるでしょう。その後は、かなり高い日が続く所が多いでしょう。農作物の管理等に注意してください。また、熱中症の危険性が高くなりますので、健康管理に注意してください。

九州南部と沖縄・奄美の向こう2週間の気温は、平年並の日が多いでしょう。年間で最も気温の高い時期にあたるため、熱中症対策など健康管理に注意してください。」となっております。

（参照：2週間気温予報 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/twoweek/?fuk=1>）

